

皇后盃 第40回全国都道府県対抗女子駅伝競走大会 宮城県代表選手選考要項

1 大会期日：2022年1月16日（日）

2 会場：京都府 たけびしスタジアム京都（西京極陸上競技場）スタート

3 コースおよび区間種別（9区間；全長42.195Km）

第1区：6.0km（一般・高校） 第2区：4.0km（一般・高校） 第3区：3.0km（中学）

第4区：4.0km（一般・高校） 第5区：4.1075km（一般・高校） 第6区：4.0875km（一般・高校）

第7区：4.0km（一般・高校） 第8区：3.0km（中学） 第9区：10.0km（一般・高校）

※ふるさと選手は2区間以内まで起用することができる。中学区間は第4区と第8区。

4 選手団構成

(1) スタッフ 監督1名、コーチ2名、支援コーチ若干名

(2) 選手 一般6名以内、高校4名以上、中学3名以上（中学は2、3年を対象）

※社会人・学生競技者は、「ふるさと制度」において出身中学校・高等学校所在地の都道府県から、当該年の登録にかかわらず、特別に出場することができる。（これを「ふるさと競技者」と呼ぶ。）

※宮城県選手団の支援コーチは、選出された選手の所属の指導者等を中心に構成する。

5 選考基準

(1) 今年度の各種競技会の実績により強化委員会が推薦する競技者。

(2) 全国都道府県対抗駅伝競争大会宮城県代表選手選考会〔11月23日（火）〕において上位の競技者。

※上記(1)(2)により選手を選考する。なお、登録数を超えて選考することもある。

6 推薦選手選考基準

(1) 一般・高校（最大7名/10名中）

優先順	選考基準（2021年度大会対象）
A-1(実績)	オリンピック・世界選手権：①10000m,②5000m,③マラソンの <u>日本代表選出者</u> （補欠含む） 推薦者が複数となる場合の優先される大会はオリンピック、世界選手権の順、優先する種目の順は①②③。
A-2(実績)	日本選手権：①10000m,②5000mの <u>入賞者</u> 推薦者が複数となる場合の優先される種目は①②の順、さらに種目内で複数該当する場合は、順位で推薦順を決める。
A-3(実績)	全日本実業団：①10000m,②5000m, <u>3位以内</u> （外国人選手除く） 全日本インカレ：①10000m,②5000m, <u>3位以内</u> （留学生除く） 推薦者が複数となる場合の優先種目は①②の順、さらに、同一大会で3位以内の選手が複数なら順位の順に推薦。同推薦基準の大会において、別々の大会でそれぞれ3位以内の選

	手が複数いた場合は順位問わず日本陸上競技連盟の公認記録(有効期限：2021.4.1～11.22)の順に推薦。
A-4(実績)	①全国高校総体 3000m <u>入賞者</u> 、 <u>国体少年女子A 3000m 入賞者</u> 、 ②U20 日本選手権 3000m <u>入賞者</u> ③全国高校総体 3000m <u>決勝進出者</u> 複数名が該当する場合は①②③の順、①の同一大会で入賞者が複数の場合は順位で推薦順を決める。①のように同推薦基準の大会において、別々の大会でそれぞれ入賞者がいた場合は順位問わず日本陸上競技連盟の公認記録(有効期限：2021.4.1～11.22)の順に推薦。③においては決勝での順位で推薦順を決定する。
B(記録) 【注1】	①5000m(一般・高校)：16'16"00,②3000m(高校)：9'26"00 (有効期限：2021.4.1～11.22) ①昨年度日本大学ランキング 47 位相当②昨年度日本高校ランキング 47 位相当。推薦者が複数となる場合、①②の種目を同等ととらえ、①②を合わせた全国ランキングの順で推薦順を決める。ただし、記録は日本陸上競技連盟の公認記録である必要がある。
C	上記にあてはまる選手が登録選手の人数に満たない場合は、主要駅伝・大会の実績等を考慮し、強化委員（駅伝担当）が選出する。（ただし一般選手のみ）

※一般選手については選考会に出場できない場合（クイーンズ駅伝等）を考慮し、最大7名を推薦で選考する

(2) 中学（2名/3名中）

優先順	選考基準（2021年度大会対象）
A(実績)	①全日本中学校陸上競技選手権大会 1500m <u>入賞者</u> ②全日本中学校陸上競技選手権大会 1500m <u>決勝進出者</u> 推薦者が複数該当する場合は①②の順。さらに、同一大会で入賞者複数なら順位の順に推薦。②においては決勝の順位で推薦順を決定する。推薦者が複数該当する場合は大会順位を考慮する。
B(記録) 【注1】	1500m：4'40"00 (有効期限：2021.4.1～11.22) 昨年度日本中学ランキング 47 位相当、複数該当する場合は日本陸上競技連盟の公認記録の順で推薦順を決める。

【注1】優先順Bにおいて、ケガ及び体調不良等で、著しく実力を発揮できないと強化委員が判断した場合は、推薦対象外となる。

7 宮城陸上競技協会強化委員会（駅伝担当者）

細川 孝博（佐沼高） 佐藤 広樹（仙台二高） 釜石 慶太（仙台育英学園高）
平塚 知広（県農業高） 千葉 直幸（河南西中） 鈴木 愛子（袋原中）

8 今後の予定

10月19日（火） 選考会要項（宮城陸協HPへ掲載）
11月15日（月） 強化委員会会議「推薦選手について」
11月17日（水） 推薦選手発表①（宮城陸協HPへ掲載）
11月23日（火） 推薦選手発表②

- 11月23日（火） 選考会・強化委員会会議「都道府県対抗駅伝選手団について」
11月下旬 選手発表（全員）（宮城陸協HPへの掲載）
12月27～29日 男女合同1次合宿（仙台）
1月5～7日 男女合同2次合宿（仙台）
1月9日（日） 練習会（利府）

9 その他

- (1) 故障などのため、本大会で競技力が発揮できないような事態が生じた場合は代表を取り消す場合がある。
- (2) 選考された候補選手（一般や県外在住の大学生を除く）は、都道府県駅伝に向けた強化練習・合宿に原則参加すること。
- (3) 新型コロナウイルスの影響で選考会が実施できない場合は、宮城陸上競技協会強化委員が選手を選考する。
- (4) 新型コロナウイルスの感染拡大状況により大会実施の有無、練習会や合宿等の実施が変更となる場合がある。
- (5) 選手起用に関しては監督が最終決定をする。練習会や合宿の状況が同等の場合は推薦順→選考順を考慮する（直前の怪我や体調不良を除く）。また、コーチ・支援コーチは、担当する選手のコンディショニングや、選手の付き添いなどのチームのマネジメントを担当する。

《問い合わせ先》

一般財団法人 宮城陸上競技協会
強化委員会 副委員長（駅伝担当）
細川 孝博（佐沼高校）

TEL：0220-22-2022（佐沼高校）

E-mail：hosokawa-ta017@td.myswan.ed.jp